

会 議 記 録			
会議の名称	予算特別委員会（全体会）		会議場所 全員協議会室
			担当職員 鈴木
日 時	令和3年3月10日（水曜日）	開 議	午前 10 時 00 分
		閉 議	午前 10 時 08 分
出席委員	◎山本 ○大塚 長澤 三上 富谷 浅田 平本 田中 並河 木村 赤坂 三宅 松山 小川 奥野 小松 藤本 木曾 竹田 齊藤 西口 菱田 石野 <福井議長>		
執行機関出席者	桂川市長、石野副市長、神先教育長、山内市長公室長、浦企画管理部長、石田総務部長		
事務局出席者	山内事務局長、井上次長、鈴木議事調査係長、佐藤主任、小野主任		
傍聴	市民 1 名	報道関係者 0 名	

## 会 議 の 概 要

10:00

### 1 開議

〔山本委員長 あいさつ〕

<福井議長>（あいさつ）

桂川市長は、目指す都市像として「人と時代に選ばれる リーディングシティ 亀岡」を掲げられ、5つの重点テーマを設定し、施策展開を図ることとされている。議会としては、市民目線に立ち、市民福祉増進にとって、真に必要な予算であるかを念頭に置き、より詳細な審査を実施いただきたいと考える。今回は、事前に各分科会で勉強会を実施いただいております、より効率的な審査を実施できると期待している。最終日には最良の意思決定ができるようお願いする。

〔事務局長 日程説明〕

### 2 予算審査

〔市長等 入室〕

10:04

・市長 あいさつ

<桂川市長>

コロナ禍において、生活様式の変化をはじめ、社会・経済に大きな影響が及ぼされている中ではあるが、新年度予算については、本市の実情に応じ、きめ細かく対応し第5次亀岡市総合計画に基づき、あらゆる分野において、人と時代に選ばれるまちの創造に向け、SDGs未来都市として、特色ある豊かな資源を生かした事業について、将来にわたって持続可能な財政運営を図ることを基本に予算編成を行った。令和3年度の重点事業としては、子育てしたいまちを目指し、教育分野をさらに充実し、みらい教育リサーチセンター設置をはじめ、ICT機器を活用した教育環境の充実やGIGAスクール構想の確実な推進、

各校の実情に応じた特色ある学校づくりの推進など、次代を担う子どもたちの育みを進めるとともに、子どもの宅食事業をはじめ、支援が必要な家庭をサポートする取組も進め、ソフト面とハード面の双方から、きめ細かな施策により、子どもの教育環境や子どもを生み育てる環境づくりを推進していく。スポーツ、歴史・文化、観光の魅力をさらに創造することについては、かめおかまるごとスタジアムのイベントや、霧の芸術祭を継続して実施する中、本市の今後の文化施設のあり方を検討する取組や、「川の駅」亀岡水辺公園を活用した、体験型観光などの新たな観光需要の創出も進める。環境先進都市を推進するため、脱炭素宣言を盛り込んだ環境基本計画の策定をはじめ、環境政策情報発信・サテライト交流拠点づくりや、全校へのウォーターサーバーの設置、プラごみゼロに向けた各種取組を実施する。また、だれもが安心して暮らせるまちづくりを推進するため、防災・減災や多文化共生を視野に入れた取組に対する経費を計上しているほか、スタジアムがあるまちとしての強みを生かし、スタジアムを新産業創出の拠点として活用する取組などを重点事業として予算案を提案している。これらの財源については、税収等において、コロナ禍での不安定な社会状況も考慮する中で、ふるさと力向上寄附金を有効に活用するなど、財源確保を図った上で、持続可能な財政運営を考慮した範囲で財政調整基金の活用などにより編成した。令和3年度は、「人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡」の創造に向け、まさに第5次亀岡市総合計画のキックオフの重要な1年であると考えており、さらに積極果敢に市政運営に邁進する。

<山本委員長>

限られた日程の中で、円滑な委員会審査の充実を図るため、簡潔で適切な説明、的確な答弁をお願いする。

[市長等 退室]

### 3 その他

<山本委員長>

3月5日の予算特別委員会において、委員会の現地視察については「新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、全体会としての視察は実施せず、各分科会において実施するか検討してはどうか」という提案があった。そのようにすることでよいか。

—全員了—

<山本委員長>

今回は、現地視察を実施するかどうかについては各分科会で決定する。また、実施する場合の日程については、総務文教分科会は16日、それ以外の分科会は、12日が空いているので、この日程も活用いただきたいと考えている。

この後の分科会の開議時刻は10時20分とする。以上で、本日の予算特別委員会全体会を散会する。

散会 10:08